

大泉

二つのたくましさ

石井 友行

大泉小学校で育てたいたくましさは二つあります。

まず一つ目は、体のたくましさ。健康な体づくりです。中心になるのは体育の授業の充実です。限られた時間の中で運動量を確保し、子供たちの体力向上を計画的に進めていきます。もう一つが遊びを通して体力づくりです。寒くなると、休み時間もついつい室内で過ごしたくなるものですが、そうならないようにいろいろな仕掛けを実施します。これから実施する持久走月間やなわとび月間の取り組みがそれにあたります。児童が自分で課題を決めて運動に取り組むことができようなカードを準備して、休み時間などに進んで運動に取り組める状況を作っていきます。毎年友達同士励まし合って運動に取り組む姿が見られます。誰かに言われてやるのではなく自分から進んで運動に取り組む気持ちを育てることが大切だと考えています。大泉小学校の児童の体力テストの結果を見ると、全体的には走力がやや弱い傾向にあります。授業やこうした取り組みを通して改善していきたいと思います。大人は二つ目は心のたくましさです。

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



社会に出て生活する中で多くのことが自分の思い通りにいかないことを経験から理解しています。そして折り合いをつけながら社会生活を送っていきます。

子供たちにとって学校は小さな社会です。家庭と違って、そこには多くの年齢の子供が生活をしていきます。自分の思い通りにならないことも多い。友達との交流で、わくわくするような楽しいこともたくさんありますが、利害が対立してけんかになることもしばしばです。そんなときに、自己主張を続けるのではなく、相手のことも考えて引くべきところを引き、折り合いをつけていくということも大切な社会的スキルです。相手に譲ることができるといことは心のたくましさの現れです。

体力がなかったら運動をすればそれなりの成果は出てきますが、心のたくましさはどうしたら育つのでしょうか。たくましさを支えるのは自己肯定感です。つまり自分は大丈夫という自信です。小さなことでもいいから何かやり遂げること。そして周りの大人がそれを励ますことが大切です。やり遂げたことの数だけ自信は育っていきます。もう一つは挫折経験の大切さです。チャレンジするのであるから失敗だって必ずあります。そんな時、自分の気持ちと向き合っ前向きな気持ちに切り替えられるようにすることも大切です。学校は子供の自己肯定感を伸ばす指導をこれからも進めていきます。

12月の行事予定

- 2日(月) 振替休業日
- 3日(火) 個人面談(5時間授業)
- 4日(火) 持久走月間
- 4日(水) 持久走集会
- 5日(木) 4時間授業
- 5日(木) 委員会活動
- 6日(金) 買い物学習(五)
- 9日(月) 社会科見学(6)
- 9日(月) クリーン運動
- 10日(火) 言語学習(五)
- 10日(火) 社会科見学(3)
- 個人面談
- 11日(水) ※3年以外5時間授業
- 個人面談
- 安全指導・安全点検
- 12日(木) 避難訓練
- クラブ活動
- 個人面談
- ※3年のみ5時間授業
- 13日(金) 個人面談(5時間授業)
- 14日(土) 障害理解教育(4・5)
- 16日(月) 個人面談(5時間授業)
- 言語学習(五)
- 17日(火) 個人面談(5時間授業)
- 18日(水) 合同球技大会(五)
- 19日(木) クラブ活動
- 23日(月) 天皇誕生日
- 25日(水) 冬休み前朝会
- 給食終
- 26日(木) 5時間授業
- 冬季休業日始め



《12月の生活目標》
「外遊びや運動をして
体をきたえましょう」

「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る。」身体が健康ならば、それに伴って精神も健全であるということです。もともとは、「バランスのとれた肉体と精神が望ましい」といったことのようにですが、身体が弱っているときは、弱気になる自分から考えると、やはり丈夫な身体を作ることが精神の安定につながると考えてよいように思えます。校内を見回してみると、頑張り切れず「まあ、このぐらいで」と、妥協してしまったり、頑張らずに済む他の方法を探し始めたり、「僕には、それは無理。」などと初めからあきらめてしまったりする児童が目につきます。昔であれば「根性がない。」と一蹴されるころです。これも時代と言えましょう。そうなのかもしれませんが、教育はそれで片付けるわけにはいきません。何せ、これからの日本を背負って立つ人間を育てないといけないのですから。私は、ゲームが子供をむしばんでいるように思えてなりません。外で、元気に遊ぶことが心と身体を健康にしているためには必要です。今月四日から一月の持久走記録会に向けて「持久走月間」が始まります。自分に挑戦し、根性のある泉つ子となつてほしいと切に願っています。(坂上龍介)

◎『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。

・時間は：火曜日・水曜日

金曜日：10時～15時

・場所は：和室 で行います。

四年生の様子

四年生は身近な事を題材にして、友達と仲良く協力し合いながら学習や活動に取り組んできました。

社会科では、清掃局や水道局の方々に来ていただき、ゴミや水について学習しました。実際に自分たちでゴミを分別したり、汚れた水が薬品できれいになったりするのを見て、体験的に学習しました。

理科では普段何気なく見ていた校庭の木々や植物、星や月の変化を観察することで自然について学んでいます。

総合的な学習の時間では、地域安全マップづくりを行いました。各班に分かれ、保護者の方にボランティアをしていただきフィールドワークを行いました。自分たちの住んでいる地域を「入りやすい場所」「見えにくい場所」をキーワードに安全な場所、危険な場所を調べ、まとめました。十一月の土曜公開日には安全マップの発表会を行い、多くの保護者の方に見ていただきました。発表を終えた子供達は達成感と安堵感でいっぱいの様子でした。次の学習や活動への意欲につながりそうです。

学芸会の演目は「そんごくう」です。どの場面にも歌があり、元氣いっぱい音楽劇になると思います。練習の時から演じる大変さを指導してきました。声の大きさ、話すスピード、振る舞いなど、普段体験できない活動に精一杯取り組みました。

日々の学習や活動のほかにも行事を一つ一つやり遂げ、大きく成長してきました。学習への取り組みや友達とのかかわり方などを見ると、高学年に近づいていると感じられます。

(遠藤 敦)

六年生の様子

五月の移動教室の後、岩井での絆をその場のノリで終わらせず、今後につなげていきたいと書かせていただきました。

その後、九月に行われた連合水泳記録会に参加しました。人数は六十八名と参加した他校と比較して少人数です。が大泉小のコールがあると一番大きな声援がプールサイドに響き渡りました。正しい泳法を意識して練習した成果が出て、夏休み前の記録を大きく上回る子どもたちがたくさんいました。三位以内に入賞した子どもたちも七名いました。

運動会では、各学年の保護者の方から組体操や係活動の取り組み方に多くの賞賛の言葉をいただきました。子供にも私達たちにも励みになるものでした。やり遂げた達成感、自分の力への感動の涙を流す子どもも多く、その姿に感動しました。

十一月に入り、卒業アルバムの写真撮影や学芸会の準備も始まりました。体育館清掃や用具の整備にみんなが気持ちよく取り組みます。理科の実験や歴史上の人物の生き方に心を動かす姿、読書旬間の読み聞かせや車いす体験に心を動かす姿、厳しい指導にも負けないで、伸びようとする姿、日頃は「じえじえじえ」と思う場面もあり、課題もあります。しかし、改めて振り返ると、こころの協力的で意欲的な姿が数多く浮かびます。

残り四ヶ月になりましたが、友達のよさをたくさん味わってほしい。思いやりの心を大切にしたい。たくましい心をもってほしい。願いはつきませんが、十年、二十年たってもいい思い出として心に残る時間を作りたいと思っています。

(壺坂 憲司)

委員会活動の紹介

各委員会の委員長さんより、それぞれの委員会の活動を紹介します。

☆計画代表委員会

計画代表委員会では、ロング集会・運動会・学芸会のめあてを決めたり、東日本大震災で被災された方々への募金活動を行ったりしています。学校全体に関わる責任がある仕事をするので、一人一人が大泉小学校をより良い学校にしたいという高い志をもって活動しています。

☆運動委員会

運動委員会では、主に体育や休み時間に使う道具をみんなが使いやすいように整理などを行っています。他には水泳の準備や体育倉庫の整理、持久走集会や縄跳び集会の司会進行などを行っています。

☆保健・美化委員会

保健・美化委員会では石けんの補充、水が安全かどうか調べる水質検査を週に三回行っています。また、けがの防止ポスターや保健新聞も作成します。

保健・美化委員会では、みなさんが健康に、安全に過ごせるよう、日々活動しています。

☆放送委員会

放送委員会は、朝、昼、放課後の放送をしています。お昼の放送は、給食の間が楽しくなるように工夫しています。音楽、クイズ、占い、そして今年から大泉ニュースを始めました。これからは楽しい放送をしていきます。

☆集会委員会

私たち集会委員会は、「皆が楽しかったと思える集会」をつくっています。どういう工夫をしたら皆が楽しんでくれるかを考えながら、計画を立てています。これからは、楽しんでもらえるように積極的に活動していきます。

☆環境委員会

環境委員会では、ビオトープの観察やエコキャップの収集、節電や生き物の大切さについてポスターを通して全校に呼びかける仕事を行っています。また、理科室や各階の傘立ての掃除など、学校をきれいにする仕事もしています。

☆図書委員会

図書委員会では、主に休み時間の本の貸し出し・返却・整理をしています。春と秋の年二回ある「読書旬間」には、図書クイズをやり、正解者に手作りのしおりのプレゼントをしました。また、本の楽しさを知ってもらおうための集会、今年「ウラパン・オコサ」という本を使いゲームをしました。一月には、毎年行っている「千支の絵コンクール」も予定しています。これからは、図書委員が協力して、大泉小のみんなが本を楽しく読めるようにしていきます。

